



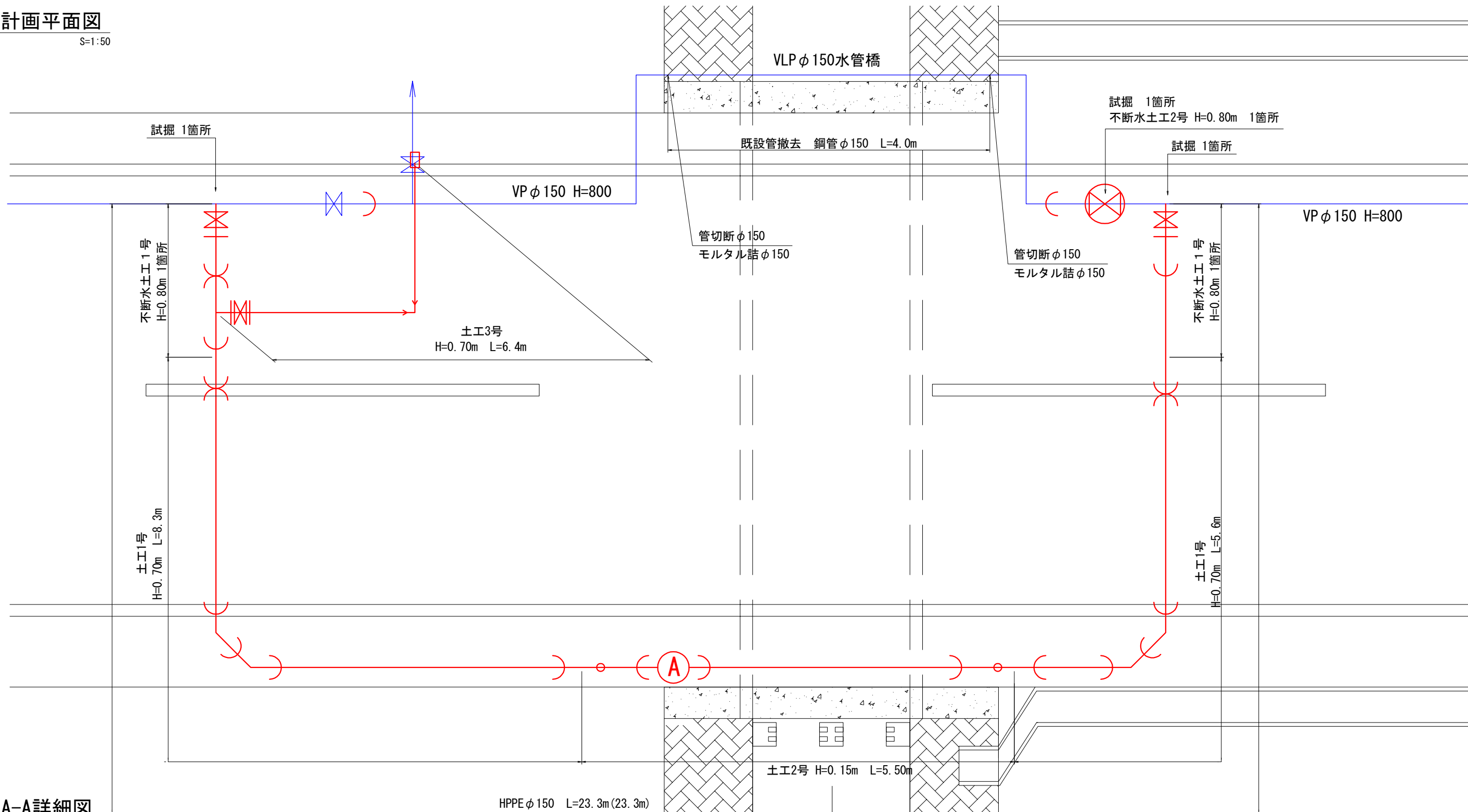
平成十六年十月

工 事 名	老朽管布設替工事（旧名1号線）		
施工箇所名	志摩市大王町畔名地内		
図面の種類	位 置 図		
縮 尺	1:50,000	図面番号	1
志 摩 市 上 下 水 道 部			



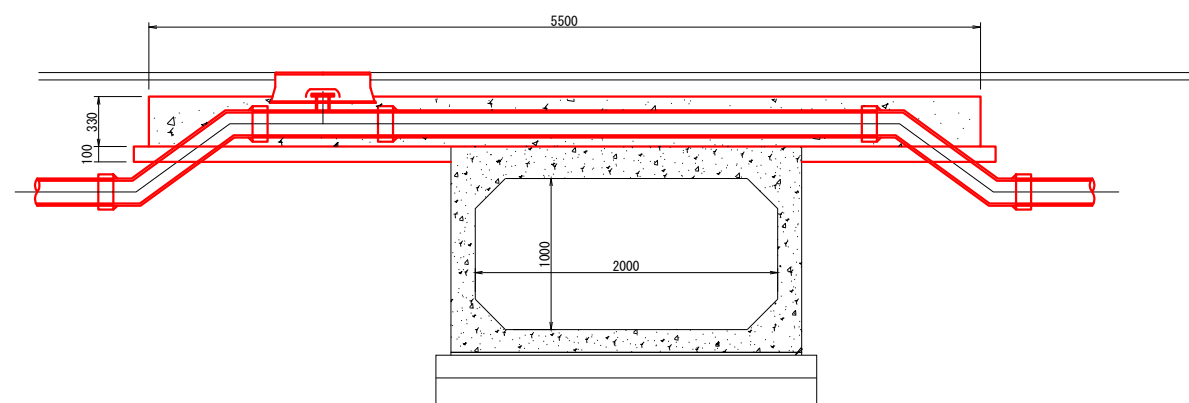
# 計画平面図

S=1:50



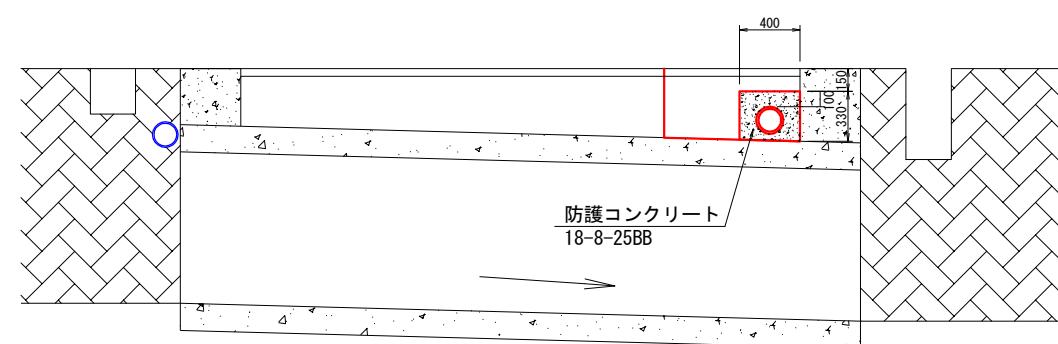
## A-A詳細図

S=1:50



## B-B詳細図

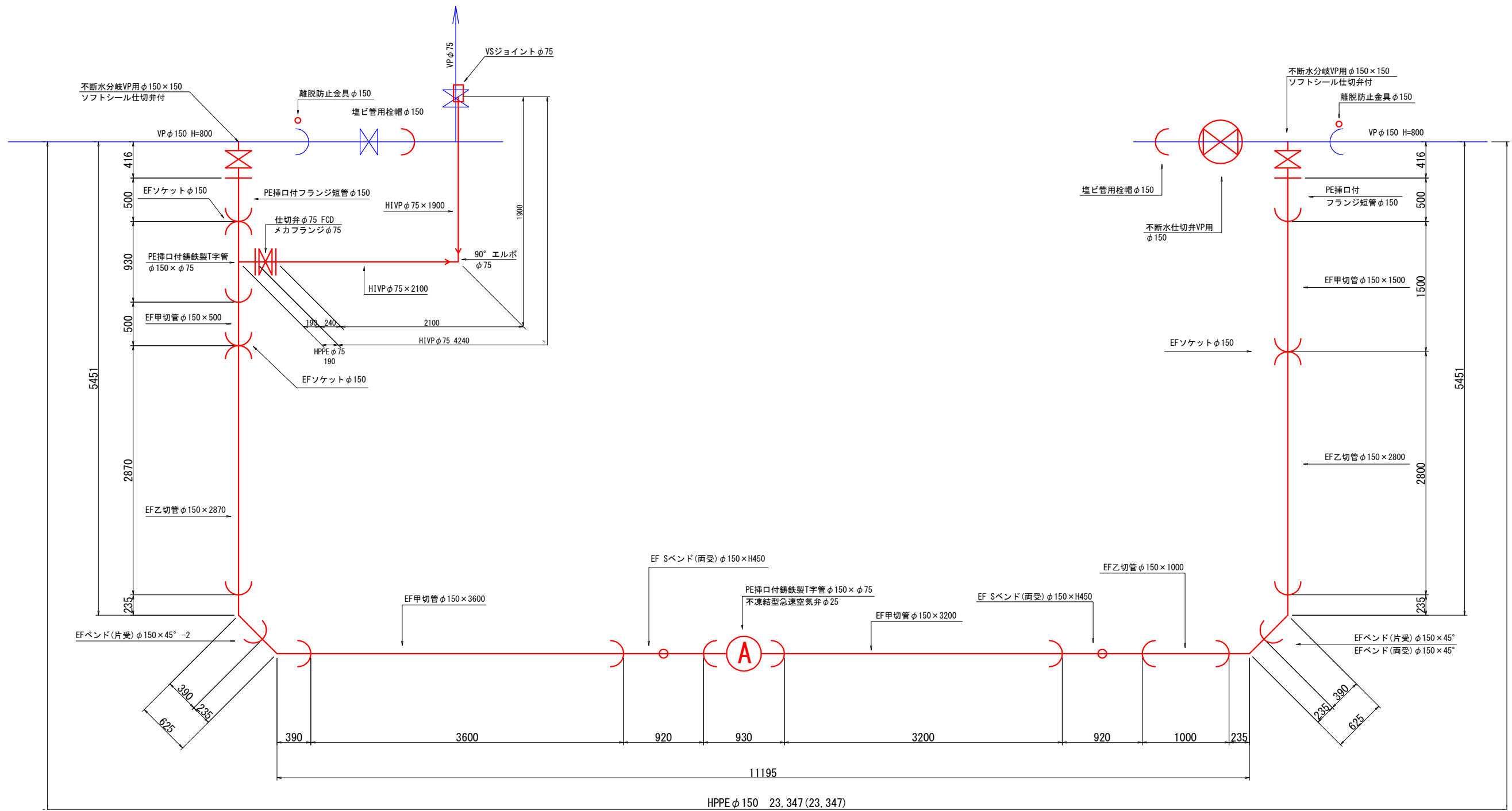
S=1:50



工 事 名	老朽管布設替工事 (県名1号線)		
施工箇所名	志摩市大王町畔名地内		
図面の種類	詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	2
志 摩 市 上 下 水 道 部			

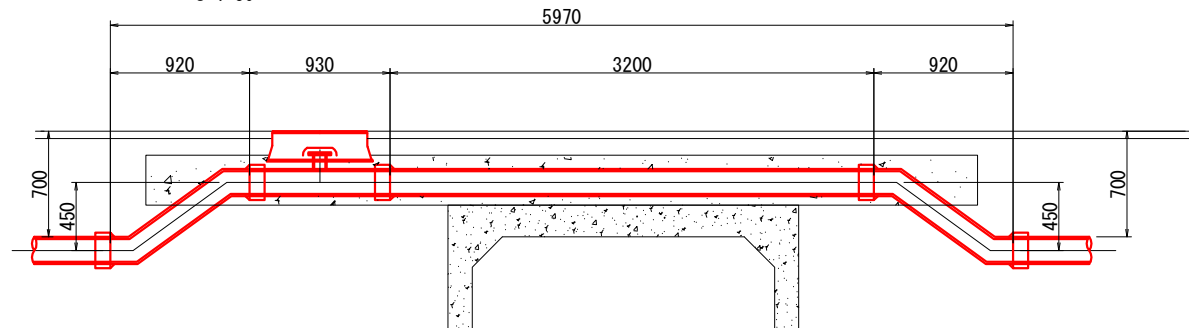
## 配管詳細図

S=1:50



### A-A詳細図

S=1 : 50



工 事 名	老朽管布設替工事（畔名1号線）		
施工箇所名	志摩市大王町畔名地内		
図面の種類	詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	3
志摩市上下水道部			

S=1:100

土下1尺

市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )配水管  $\phi 150$ 市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )配水管  $\phi 150$ 市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )

排泥管  $\phi 75$

市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )

不断水分岐  $\phi 150 \times \phi 150$

## 2500

## 2500

市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )市道 ( $W \geq 5.5\text{m}$ )

不断水仕切弁  $\phi 150$

## 1200

S=NO SCALE

S=NO SCALE

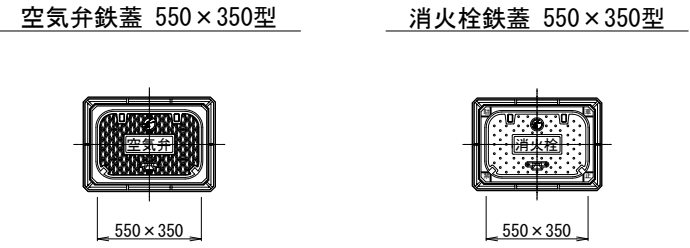
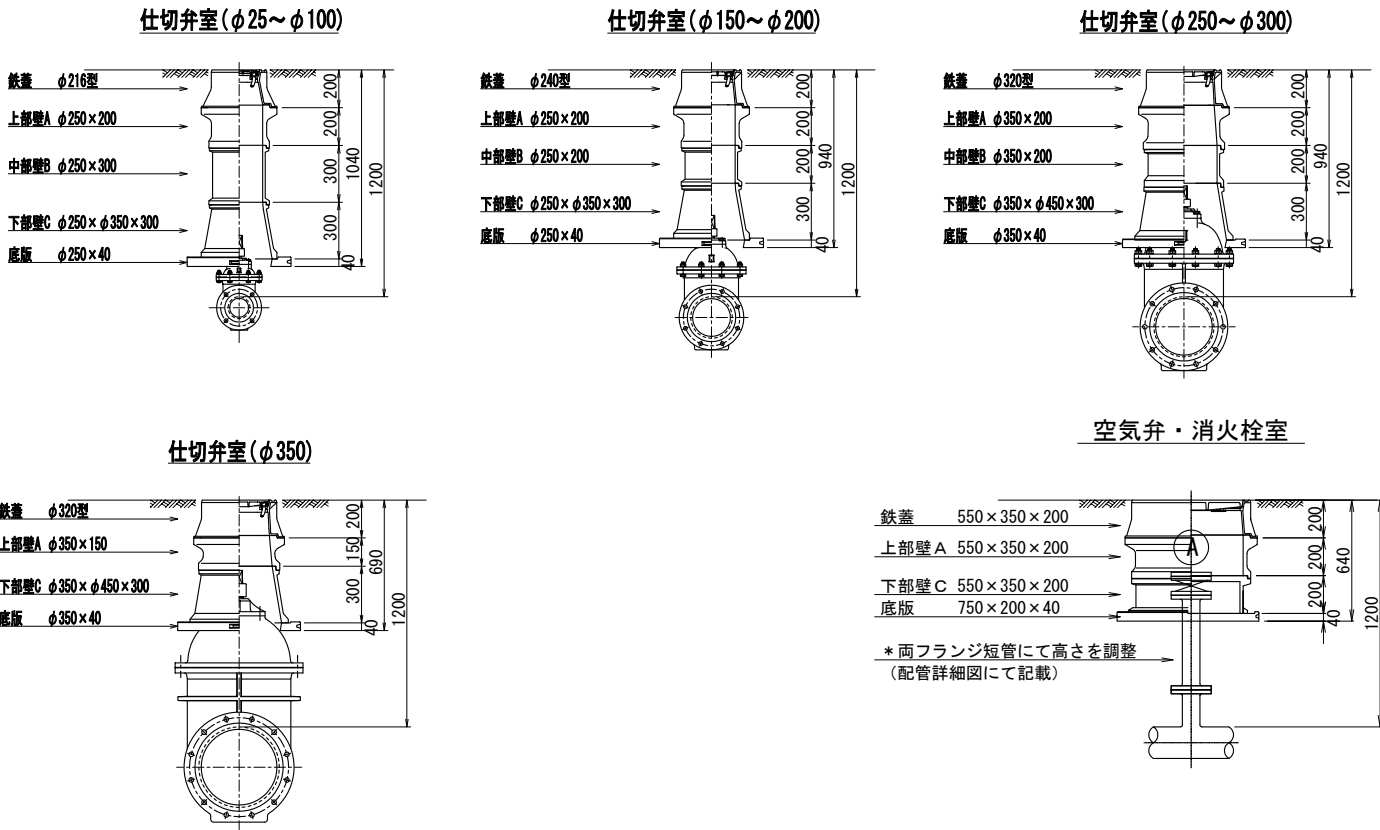
( $W \geq 5.5\text{m}$ )

( $W \geq 5.5\text{m}$ )

工 事 名	老朽管布設替工事(群名1号線)		
施工箇所名	志摩市大王町畔名地内		
図面の種類	土工標準図		
縮 尺	図 示	図面番号	4
志 摩 市 上 下 水 道 部			

弁室据付標準図

S=1：20



消火栓蓋はカラー塗装とする。

空気弁室（単口用）

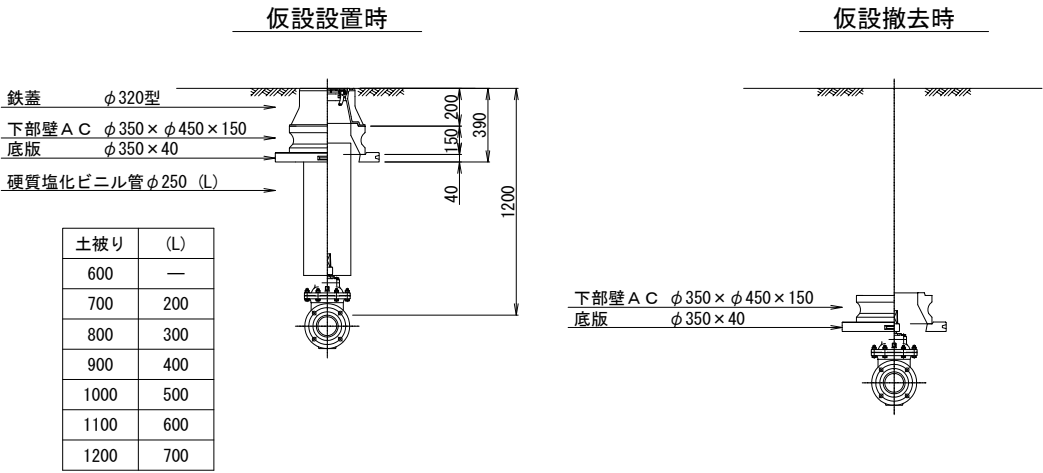
H	鉄蓋	調整リング	上部壁 A	中部壁 B		下部壁 C			下部壁 A C	底板
	550×350×200	550×350×50	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×400	550×350×200	750×200×40
500	●	●							●	●
700～	●	●	●			●				●

消火栓室（単口用）

H	鉄蓋	調整リング	上部壁 A	中部壁 B		下部壁 C			下部壁 A C	底板
	550×350×200	550×350×50	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×100	550×350×200	550×350×400	550×350×200	750×200×40
500	●	●							●	●
700～	●	●	●			●				●

注：土被りH=800以上の消火栓・空気弁室については、両フランジ短管にて消火栓・空気弁（補修弁含む）の設置高を調整するため、弁室の高さ（底高）は補修弁の下あたりになるように調整すること。

仮設仕切弁室標準図



土被り	(L)
600	—
700	200
800	300
900	400
1000	500
1100	600
1200	700

注：組合わせは、仕様書及び表の通りとする。  
鉄蓋は、市名・市章入りとする。  
レジンコンクリート製とする。

参考図

工 事 名	老朽管布設替工事（畔名1号線）		
施工箇所名	志摩市大王町畔名地内		
図面の種類	弁室据付標準図		
縮 尺	1：40	図面番号	5
志 摩 市 上 下 水 道 部			